

21 NPO、ボランティアの協力

震災後の復旧のために NPO、ボランティアは
どんなことをしてくれたのだろう。



NPOとは

えい利（もうけること）の追求をしない組織の事です。法律によって定められた20の分野に当てはまる活動をしています。

20の分野には、「保健、医りょう又は福しの増進を図る活動」「まちづくりの推進を図る活動」「災害救えん活動」「地域安全活動」などがあります。

こうした分野で、いろいろな人たちの利益になるように協力することを目的とする活動をしています。

たとえば、災害のときに困っている人々に救えんの手を差し伸べる活動などがあります。

NPO が主催したイベントに参加した小学生の感想

クラブ（子どもまちづくりクラブ）に参加して、自分の意見を言ったり、他の子の意見を聞いたりすることなどが楽しいです。そして自分の意見が、良いアイデアとして紹介された時はうれしかったです。今、町には何もないから、子どもたちにもできることはないかと思い、クラブに参加して復興の手伝いをしています。自分たちが住んでいた町だから、もう一度取り戻すことが大切だと思います。

ボランティアのみなさんは、避難所の運営や家の修理などに力を発きしていました。

しかし、次のような問題も起きてきました。

- ボランティアの人数が多いのに、頼む内容が少ない。
- ライフラインが復旧してくると、避難所の運営とともに個人の家の復旧に数が必要になってきた。
- ボランティアに頼みたい内容と、ボランティアができる内容で食い違いが生まれた。
- ボランティアが出向く場所の安全が確かめられなかった。

これまで、日本各地、世界中から、さまざまな形で支援を受けてきたことを学んできました。

ここでは、もし、自分が支援する立場になったとき、どんなことができるのか、考えてみましょう。



もしも、日本や世界中の国々で大きな災害が起きたら、わたしたちは、どんな支援ができるでしょうか。

○感じたことや考えたことを書きましょう。
